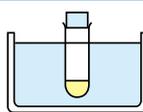
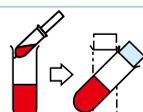
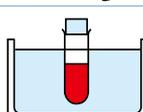
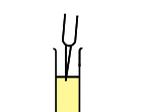


項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
血液凝固検査	0432 フィブリノーゲン <small>2B100-0000-022-311</small>	1種につき 血漿0.5 (容器1本にて3項目同時測定可)	23	(分離後)凍結	1~2	23 血液	トロンビン法	mg/dL 200~400	3.2%クエン酸ナトリウム液入り容器に血液を正確に入れ良く混和。3000rpm,10分遠心、血漿を分離して、凍結または冷蔵保存したものを提出して下さい。凝固やフィブリン析出の場合は検査不能となります。	脳梗塞 心筋梗塞 感染症 悪性腫瘍 DIC
	Quick一段法						凝固時間 11.0~13.0秒 活性値 80~120% INR 0.9~1.1	外因系及び共通系凝固因子の先天性欠乏症及び分子異常症 重症肝障害 DIC 抗凝固療法のモニター		
	エラグ酸活性化法						秒 25.0~40.0			
	2361 血小板第4因子 (PF4) <small>2B620-0000-022-023</small>	血漿0.3 速やかに冷却遠心	27	(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~7	178 血液	EIA法	ng/mL 20以下	必ず専用容器にて採取 ※02 下記参照のうえ操作は厳守のこと ※02	DIC 血栓症 腎不全 血小板減少症 骨髄増殖性疾患
	5359 β-トロンボグロブリン (β-TG) <small>2B600-0000-022-023</small>							ng/mL 50以下		

$$INR = PR^{ISI} \quad (INR \text{ 計算式}) \quad PR \text{ (プロトロンビン比)} = \frac{\text{患者血漿のPT値 (秒)}}{\text{正常血漿のPT値 (秒)}}$$

ISI:トロンボプラスチン試薬の国際感度指数

β-トロンボグロブリン (β-TG)、血小板第4因子 (PF-4) の採血方法

容器形態	検査項目	保存	採取方法	注意事項																												
 (真空採血禁止) 内容 テオフィリン アデノシン ジピリダモール クエン酸ナトリウム クエン酸 貯蔵方法 遮光・冷蔵 有効期間 製造から1年	β-トロンボグロブリン (β-TG)	凍結	 あらかじめ専用容器 (27) を冷却しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。角氷は使用しないでください。																												
	血小板第4因子 (PF-4)		 できるだけ20ゲージ (19~21ゲージでも可) の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mLを採取してください。(採血にあたって、専用容器 (27) を使用しての直接採血は絶対にしないでください。)		真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。また、駆血帯も使用しないでください。10mL以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																											
			 針を取って静かに専用容器 (27) のフタを開け、血液2.7mLを静かに移し、ゆっくり2~3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。専用容器は振とうさせないでください。																												
			 専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																												
			以上の操作を2分以内に行ってください。																													
			 砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) *遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r:遠心機のローター半径 (cm) n:1分間あたりの回転数 (rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。																												
			 上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき0.3mL検体容器へ採取してください。血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。(1ヶ月安定)	換算表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>4200</td> <td>22</td> <td>2800</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>3800</td> <td>24</td> <td>2700</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3500</td> <td>26</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>3300</td> <td>28</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>3100</td> <td>30</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>3000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4200	22	2800	12	3800	24	2700	14	3500	26	2600	16	3300	28	2500	18	3100	30	2400	20	3000		
半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)																													
10	4200	22	2800																													
12	3800	24	2700																													
14	3500	26	2600																													
16	3300	28	2500																													
18	3100	30	2400																													
20	3000																															

血液学的検査



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
2351	凝固因子第2因子 2B350-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心	23	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	75~135 %	※02	先天性プロトロンビン欠乏症 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症 肝不全 DIC	
2352	凝固因子第5因子 2B370-0000-022-311			70~135 %				先天性第V因子欠乏症 先天性第V因子・第VII因子合併欠乏症 肝不全 DIC			
2353	凝固因子第7因子 2B380-0000-022-311			75~140 %							先天性第VII因子欠乏症 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症 肝不全 DIC
2354	凝固因子第8因子 2B390-0000-022-311	血漿0.3 速やかに遠心	(分離後)凍結	3~6	223血液	ヒト欠乏血漿による補正法	78.0~165.0 %		※01	血友病A 血友病A保因者 von Willbrand病 DIC	
2355	凝固因子第9因子 2B400-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心	(分離後)凍結(21日)	3~5	223血液	凝固時間法	70~130 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	※02	血友病B 血友病B保因者 DIC 肝不全 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症	
2356	凝固因子第10因子 2B410-0000-022-311		70~130 %				先天性第X因子欠乏症 DIC 肝不全 ワーファリン投与 ビタミンK欠乏症				
2357	凝固因子第11因子 2B420-0000-022-311		75~145 %								先天性第XI因子欠乏症 DIC 肝硬変
2364	凝固因子第12因子 2B430-0000-022-311		50~150 %				先天性第XII因子欠乏症 肝不全 ネフローゼ症候群 DIC				
2385	凝固因子第13因子抗原量 2B440-0000-022-062	血漿0.3 速やかに遠心	(分離後)凍結	3~4	223血液	ラテックス凝集反応		70~140 %	※01	先天性第XIII因子欠乏症 肝不全 DIC	
2358	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第8因子 2B460-0000-022-311	血漿1.0 単独検体	23	(分離後)凍結	3~6	148血液	Bethesda法	1.0 以下 BU/mL		補充療法を受けた血友病A患者の一部	
2359	凝固抑制因子検査 (凝固因子インヒビター) 第9因子 2B470-0000-022-311	血漿1.0 単独検体	23	(分離後)凍結	3~6	148血液	Bethesda法	1.0 以下 BU/mL	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	※01	補充療法を受けた血友病B患者の一部
5423	vW因子抗原定量 (フォン・ウィルブランド因子抗原定量) 2B450-0000-022-062	血漿0.2 速やかに遠心	23	(分離後)凍結(21日)	3~5	151血液	ラテックス凝集反応	50~155 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。	von Willbrand病 腎疾患 慢性肝炎 川崎病急性期 肝硬変	
1134	vW因子活性 (フォン・ウィルブランド因子活性) 2B480-0000-022-316	血漿0.3 単独検体		(分離後)凍結	3~6	132血液	固定血小板凝集法	50~150 %			※01

①凝固因子インヒビターは、第VIII因子又は第IX因子の定量測定を行った場合に、それぞれの測定1回につきこの項で算定する。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0427	プラスミノゲン活性 (PIg) 2B260-0000-022-315	血漿0.5 速やかに遠心	23	(分離後)凍結	3~5	100血液	発色性合成基質法	75~125 %	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※02	先天性プラスミノゲン欠損症・異常症 DIC 重症肝障害 抗凝固療法血栓症
0442	アンチプラスミン活性 (α2プラスミンインヒビター) 2B270-0000-022-315	血漿0.5 速やかに遠心		(分離後)凍結 (1ヶ月)	3~5	128血液	発色性合成基質法	85~115 %		先天性α ₂ -PI欠損症・異常症DIC 肝硬変症 肝露出血傾向 線溶亢進
3312	アンチトロンビンⅢ (AT-Ⅲ) 2B200-0000-022-315	血漿0.5		(分離後)凍結	1~2	70血液	合成基質法	80~130 %		先天性ATⅢ欠乏症・異常症DIC 肝硬変症 静脈血栓症 肝炎 心筋梗塞
3313	血中総FDP 2B120-0000-022-062	血漿0.5		(分離後)凍結	1~2	80血液	ラテックス免疫比濁法	5.0以下 μg/mL		DIC 血栓性血小板減少性紫斑病 血栓症 溶血性尿毒症症候群
0430	尿FDP 2B120-0000-001-062	尿1.0 (蓄尿不可)	11	冷蔵	3~5	72尿糞	ラテックス凝集法	0.1以下 μg/mL	抗プラスミン剤とトロンビン入り容器に新鮮尿1.0mL採取し、容器のままご提出下さい。 ※01	DIC 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 妊娠高血圧症候群
5499	可溶性フィブリンモノマー複合体 (SFMC) 2B110-0000-022-101	血漿0.3 速やかに遠心	23	(分離後)凍結 (21日)	3~5	93血液	凝集反応	陰性	3.2%のクエン酸ナトリウム0.2mLに血液1.8mLの割合で採血し、転倒混和を5~6回繰り返した後、速やかに血漿分離してください。 ※01	DIC 血栓症 凝固亢進
4526	フィブリンモノマー複合体 (FM定量) 2B110-0000-022-062	血漿0.3		(分離後)凍結	3~4	227 ^① 血液	ラテックス免疫比濁法	6.1以下 μg/mL		血栓症 DIC 体内凝固亢進状態 大動脈瘤
1204	D-Dダイマー定量 2B140-0000-022-062	血漿0.5		(分離後)凍結	1~2	133血液	ラテックス免疫比濁法	1.0以下 μg/mL		DIC等の線溶亢進状態 血栓溶解療法下の状態
5495	α2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC) 2B280-0000-022-062	血漿0.3		(分離後)凍結	3~4	158血液	ラテックス凝集法	0.8以下 μg/mL		深部静脈血栓症 DIC 急性心筋梗塞 大動脈瘤
3249	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT) 2B210-0000-022-052	血漿0.4		(分離後)凍結	3~4	181 ^① 血液	CLEIA法	4.0未満 ng/mL		深部静脈血栓症 DIC 急性心筋梗塞 大動脈瘤
2593	プロトロンビンフラグメントF1+2 2B170-0000-022-023	血漿0.3 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	193 ^① 血液	ELISA法	69~229 pmol/L		深部静脈血栓症 DIC 急性心筋梗塞
0456	プロテインC活性 2B700-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	241血液	凝固時間法	64~146 %		先天性プロテインC欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与
5215	プロテインC抗原量 2B700-0000-022-062	血漿0.3 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~6	239血液	LPIA法	70~150 %		先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与 妊娠 経口避妊薬 (常時)
4963	プロテインS活性 2B710-0000-022-311	血漿0.4 速やかに遠心		(分離後)凍結	3~5	168血液	凝固時間法	M 67~164 F 56~126 %		先天性プロテインS欠乏症 DIC 肝細胞障害 抗ビタミンK製剤投与 妊娠 経口避妊薬 (常時)
1101	プロテインS抗原量 2B710-0000-022-023	血漿0.2 速やかに遠心		(分離後)凍結 (21日)	3~7	162血液	EIA法	65~135 %		原発性抗リン脂質抗体症候群 (APS) SLE 習慣性流産
4575	ループスアンチコアグラント 5G501-0000-022-311	血漿1.0 速やかに遠心		(分離後)凍結 (21日)	3~5	281 ^② 免疫	希釈ラッセル蛇毒時間法	1.3未満		

- ① フィブリンモノマー複合体は、DIC、静脈血栓症又は肺動脈血栓塞栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)、プロトロンビンフラグメントF1+2及びフィブリンモノマー複合体のうちいずれか複数個を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ② ループスアンチコアグラント定量及び同定性は、希釈ラッセル蛇毒試験法又はリン脂質中和法により、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。

* 1 採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。

血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式

$$G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$$

r : 遠心器のローター半径 (cm)

n : 1分間あたりの回転数 (rpm)

